

県営住宅上粟島団地建替事業の概要

- ❑ 老朽化が進む上粟島団地と富益団地を集約し、未来型の集合住宅として建替を計画
- ❑ カーボンニュートラルの実現に向け、積極的に省・創エネ化、木造化を推進
- ❑ PFI手法(BT方式)を導入して、令和7年度から設計等を開始、令和11年度の完成を目指す
 - ※BT方式(Build-Transfer):民間事業者が公営住宅の設計・建設を行い、竣工後に県へ所有権移転する方式

1 建替基本方針

県営住宅の配置・住戸規模の最適化

- 上粟島団地(48戸)と富益団地(88戸)を集約し、3棟60戸を整備
- 多様な世帯に対応する1DK~4DK・車いす対応の間取りを設定

ゼロエネルギー化に向けた省エネ・創エネの推進

- 県営住宅初のとっとり健康省エネ住宅性能基準「(NE-ST)」の採用
- 太陽光発電設備設置による再生可能エネルギーの活用

県産木材の積極的な活用

- Co2吸収源対策につながる木造化を推進(2棟を木造)
- 木造住棟は県内初となる構造体に県産CLTの活用を検討

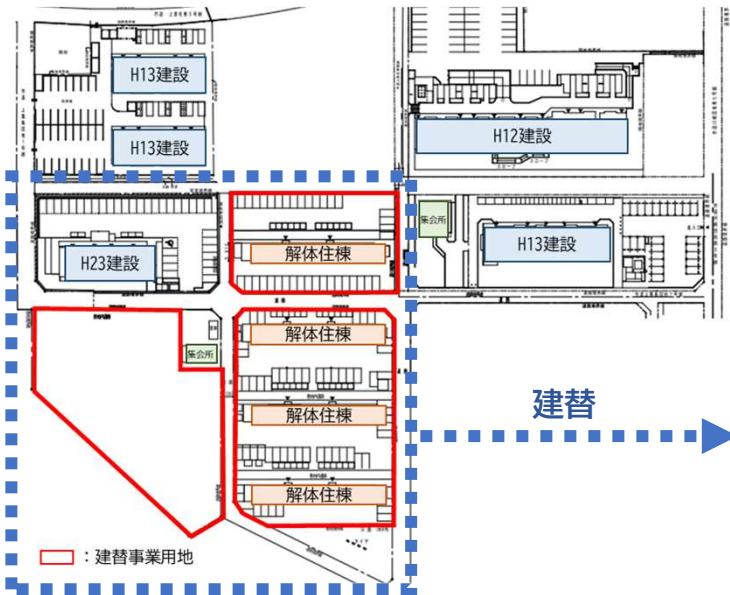
富益団地の一部を上粟島団地へ集約・建替



出典:国土地理院ウェブサイト

2 計画概要

- 上粟島団地の昭和40年代に建設された住棟4棟を解体して、高層棟と低層棟の住棟3棟を新築
- 余剰地活用については、福祉事業者による福祉施設の併設等を検討



—現状—



—整備後—

3 今後のスケジュール(案)

区分	R5年度	R6年度	R7~11年度
準備期間	要求水準等 検討	PFI事業者募集・決定	
事業実施			設計・建設、既存住棟解体、入居者移転

※現時点での想定であり、今後変更となる可能性があります。(詳細は事業者決定後に確定)